

事 務 事 業 評 価 シ ー ト

評価対象年度 平成 19 年度

【事務事業の基本的事項】

事 務 事 業 名	観光宣伝費					
担 当 課 係 名	観 光 課		観 光 係		作成者	戸澤浩
総 合 計 画 で の 位 置 づ け	施策の大綱	歴史と自然が織り成す交流拠点のまち				総合計画の ページ
	基本計画	観光誘客体制の整備と観光資源の掘り起こし				
	主要施策	テンミリオン計画の推進				29
予 算 費 目	一般 会計	7 款 商工費	1 項 商工費	3 目	観光費	
事 業 期 間	平成 年度 ~ 平成 年度		新規 / 継続の区分			
性 質 区 分	☒ 市民サービス ☐ 公共事業 ☐ 施設維持管理 ☐ 補助金 ☐ 内部管理					
根 拠 法 令 等						
事 務 区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務					
運 営 方 法	☐ 直 営 ☒ 直営（一部民間委託） ☐ 民間委託(全部) ☐ 補 助					

【事務事業の実施内容】

事業の対象 （誰のため・何を）	観光産業に携わる市民をはじめ、市民全体が観光で潤うまちづくりを目指すため観光宣伝活動を行う。
事業の目的・意図 （どういう状態にしたいのか）	観光誘客により観光客を増加させ、観光産業の発展を図る。
事業の内容 （どのような業務、活動を行うのか）	観光キャラバン、パンフレット作成等。

【事務事業の推移】

（単位：千円）

	項 目	単位	18年度実績	19年度実績	年度実績
効果	活動指標	キャンペーン及び広告掲載回数	回	9	14
	成果指標	観光客数	人	6,232,285	5,967,936
投下コスト	項 目	総事業費	18年度決算額	19年度決算額	年度決算額
	事業費（人件費を除く）(A)		3,846	4,584	
	財源内訳	国 庫 支 出 金			
		県 支 出 金			
		地 方 債			
		そ の 他			
		一 般 財 源	3,846	4,584	
	人 件 費 (B)		11,780	12,107	
		職 員 数	1.5	1.5	
		職 員 平 均 人 件 費	7,853	8,071	
	(A) + (B) 投下コスト		15,626	16,691	
単位コスト	活動指標1単位当たりコスト(円)		1,736,222	1,192,214	
	市民1人当たりのコスト(円)		490	532	

【事務事業の今までの成果】

角館、田沢湖、西木が合併し、各地域がまとまって宣伝できることにより、仙北市の認知度が上がり、宣伝効果が出てきている。

【事務事業を取巻く環境】

国・県・他自治体の動向	ビジットキャンペーンや観光庁の設置など観光に対する積極的な姿勢が出てきている。
事業に対する市民の意見 (事業に対する期待、要望、苦情等)	一部の市民からは何故観光に力を入れる必要があるかなどの声も聞こえている。

【一次評価】

判 定	事 業 の 方 向 性		判 定 に 至 っ た 理 由
B	A	現状のまま継続（実施）	市が直接観光宣伝するよりも、観光協会がより主体となった方が、効率性がよい活動ができる可能性がある。
	B	見直しの上で継続（実施）	
	C	大幅な見直しの上で継続（実施）	
	D	休止・廃止（統合を含む）を検討する事業	

一次評価の判定がB～Dのときは、下記に必ず記入すること。

【具体的な今後の取組内容（改善の方向性、対象、意図、手段等について記載すること。）

観光協会と協議し、観光宣伝に係る財政面での支援を行うなどの検討。

【二次評価】

判 定	判 定 に 至 っ た 理 由
B	観光宣伝においては、秋田県及び観光協会など行政、観光関係団体や民間などと連携を図り、主要施策である事業なので事業推進について努めていただきたい。

一次評価診断図

